

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p><b>1 認知症高齢者が安心して暮らせるまちに（20分）</b></p> <p>2040年に、高齢者の7人に1人が認知症になるとの推計結果が、「認知症施策推進関係者会議」で公表されました。長寿社会では、誰もが認知症になり得る可能性があります。</p> <p>かつては、認知症になると、何もできなくなるとの認識が根強くありました。本人は家に閉じこもり、介護する家族も疲弊してしまうケースが多くありました。</p> <p>しかし、近年は、仕事や趣味を続けるなど、社会との繋がりを保つことが、進行を遅らせる効果があることが分かってきました。</p> <p>認知症に対する誤解や偏見を払拭することが大切です。</p> <p>近年、健康志向の高まりで、認知症の発症リスクとの関連が指摘される、喫煙や食事といった生活習慣の改善で、予備軍とされる軽度認知障害から認知症になる割合が低下し、2015年に公表された前回推計より認知症の高齢者数は減少しました。</p> <p>しかし、認知症の増加が止まるわけではありません。認知症患者の意思を尊重し、できる限り、住み慣れた地域で暮らし続けられるための地域の理解が重要です。そのための市の取組みについてお伺いします。</p> <p>(1) 市内の認知症高齢者数と高齢者人口に対する割合は</p> <p>(2) 市が行っている支援について</p> <p>ア 患者に対する支援は</p> <p>イ 家族に対する支援は</p> <p>(3) 地域ができる支援は</p> <p>(4) 認知症に対する正しい理解を深めるための取組は</p> <p>ア 住民に対して</p> <p>イ 児童・生徒に対して</p> <p>(5) 早期発見のための取組について</p> <p>(6) 認知症予防の取組について</p> <p>(7) 認知症サポーターの養成と活用について</p> <p>(8) 認知症基本法施行による市の取組について</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p><b>2 鶴ヶ島市の文化財を魅力あるものに（15分）</b></p> <p>文化財には、私たちのまちの歴史や文化、自然環境が、どうであったのかを知ることができる重要な要素が秘められています。</p> <p>多くの文化財は、人との関わり合いの中で生まれ、継承されてきました。文化財は、地域の豊かな歴史と文化を物語ってくれます。文化財を通し、地域への愛着や誇りを感じることができます。</p> <p>しかし、文化財の価値は、ただ、そこにあるだけでは十分に価値を發揮してくれません。文化財の価値を引き出し、魅力を高めて、多くの方が、その価値を享受できることが必要です。</p> <p>そのためには、まず文化財があることを知っていただき、文化財の魅力や価値を感じ取っていただくことが大切です。市の見解をお伺いします。</p> <p>(1) 本市の文化財の種類について  (2) 文化財整理室に展示されている文化財の種類は  (3) 文化財整理室の見学方法と昨年の見学者数は  (4) 文化財についての住民への周知は  (5) 鶴ヶ島の文化財に対する児童・生徒への教育方法は  (6) 複合施設（旧西中学校）へ移転後の展示方法は</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>
<p><b>3 特別支援学級について（10分）</b></p> <p>特別支援学級は、小中学校に設置され、障害のある児童生徒を対象にした少人数の学級であり、障害による学習や生活の困難を克服するため、その子のニーズに合わせた特別な指導を行う場です。この特別支援学級にも学級担任が配属をされています。特別支援学級の担任についてお伺いします。</p> <p>(1) 市内の特別支援学級数は  ア 小学校  イ 中学校  (2) 特別支援学級を担当する教師に必要な資格について  (3) 特別支援学級の担任の中で特別支援学校の免許を持つ教師の割合は  (4) 担任の選抜方法について</p>	<p>教育委員会教育長</p>